

Q1：チーム編成は？

A:3年生以下の「Tチーム」、4～5年生の「Bチーム」、5～6年生の「Aチーム」の3チームで嶮山ひまわりは編成されています。A・Bチームに所属する子ども達の学年は、その年の子どもの数によって変わります。

Q2：TチームのTって何ですか？

A:3年生以下のTチームは「ティーボール」に取り組むチームなので、Tチームと呼んでいます。「ティーボール」とは全国の小学校でも体育の授業で行われている、野球やソフトボールの入門スポーツです。本塁プレートの後方に置いたバッティングティーにボールを載せ、その止まったボールを打つことからゲームが始まるためピッチャーがボールを投げない点が、野球やソフトボールと大きく異なります。技術の巧拙関係なく楽しめるので老若男女問わず初心者でも幅広くプレーできます。

* ちなみにA・Bチームは通常の軟式野球で、出場する大会のクラス名称をチームの呼称としています。

Q3.どんなスケジュールですか？

A:毎週土曜・日曜・祝日に練習や練習試合、公式戦があります。毎週水曜にその週末の予定がチームから配信され、練習時間と練習場所が確定します。

Aチームはお昼休憩をとりながら朝9時から夕方17時までを目安に活動します。Bチームは午前か午後4時間の練習を基本とします。

Tチームは午前か午後3時間の練習となります。低学年の子どもが集中して練習に取り組めるよう、他の少年野球チーム(終日練習が多い)と比べて短いのが特徴です。短時間でも集中した効率的な練習を通じて、過去の大会において優勝・準優勝などの成果を残しています。ちなみに夏休み・冬休みもありますよ。

* 練習場所は荏子田小学校・嶮山公園グラウンド・すすき野公園グラウンド・美しが丘西グラウンドのいずれかです。すすき野公園グラウンド以外は駐車場があります。すすき野公園グラウンドの場合は荏子田小に駐車します。

Q4.どんな練習をしますか？

Tチームでは、最初に野球の正しい基本動作(投げる・捕る・打つ・走る)を子供達が習得できるよう、根気よく指導します。個々の練習メニューは目的を設定し、各動作の必要性・合理性について、子ども達には言葉と動作で繰り返し伝えます。正しい基本動作の習得はプレー中の安全確保につながります。子ども達が手応えを感じ、自信を持ち、野球の楽しさを実感してくれることを大切にします。必要なチームプレー(守備のフォーメーション等)は、子ども達の上達にあわせて随時教えます。チームワークの大切さも伝えます。

子ども達はちょっとしたコツさえつかめば、昨日できなかったコトが今日には突然できるなど大きな可能性を持っています。その成長を目の当たりにすることが保護者としての驚きでもあり、嬉しさでもあります。

暑さ・寒さ対策など、子供達の健康管理には十分留意して練習を運営します。

A・Bチームでは、Tチームで学んだ基本をベースにして、難易度の高い練習メニューに挑戦します。A・Bチームから入団する子どもには、基本を随時指導します。

Q5.どんな人が教えてくれますか？

A:Aチームの監督は嶮山ひまわりを創設した依光孟司監督が創設以来40年、子ども達を指導しています。B・Tチームもそれぞれコーチ責任者が在団する子どもの保護者とは別であり、長年指導にあたっています。責任者以外にもA・B・Tチームそれぞれに、保護者から有志をつのりコーチとしてチームを支えています。各チームとも責任者・コーチ間で指導方針の共有を徹底しています。Tチームでは、野球経験の無い保護者も子どもと一緒に野球を学び、楽しんでいます。

Q6.どんな大会に出場しますか？

嶮山ひまわりは青葉区少年野球連盟に所属しているので、青葉区主催の大会を中心にローカル大会、市大会など公式戦に出場しています。

Tチームは青葉区新人戦・春季大会・秋季大会、青葉リトル杯、そしてティーボール野球神奈川大会(横浜スタジアムで実施)に出場します。

A・Bチームは青葉区新人戦・春季大会・秋季大会に加え、山内大会・田奈杯・すすき野大会・横山杯、またその他出場を連盟より推薦された大会に出場します。

Q7.必要な道具は？

嶮山ひまわりのユニフォーム(半袖Hティーシャツ・T用ユニフォームか、A&B用ユニフォーム・帽子)は決まったおそろいのものがあります。

ズボン(白)、靴下(紺)、ストッキング(紺)、靴(黒)、ベルト(紺)は色が決まっていますが、指定のものではありません。また長袖のアンダーシャツ(紺)も色は決まっていますが指定ではありません。

それぞれお下がりもありますので、全て購入しなくても大丈夫です。

またバット、グローブについてもお下がりがある場合があります。

いずれも入団時に在団生に在庫を確認しますのでご相談ください。

また、保護者用におそろいのTシャツの購入をお願いしています。

Q8.お当番は大変ですか？

A: だいたいひと月に 1~2 回程度です。当番前日に道具の片付けと引き取り、当日はお茶をジャグに入れて持って行くことと、用具出し、そして子ども達のケアが中心です。季節に合わせて準備するものは変わりますが、基本的に準備するものはお茶のみです。また、どうしてもお当番の日にお仕事や用事、学校行事などが入ってしまった場合は、みんなで交代しながら行いますので心配ありません。子ども達の練習風景をじっくり見ると、子ども達の個性や試合での成長ぶりが発見できて嬉しくなります。また監督やコーチ、保護者同士とも交流できる良い機会ともいえます。

Q9.野球をしながら他の習い事はできますか？

A: 野球以外のスポーツに加え、ピアノや習字などいろいろな習い事や塾に通っている子ども達が数多く在籍しています。土日に時間をとられると他の習い事ができないのではないかとお考えかもしれませんが、うまく時間を調整しているんなことに取り組んでいます。野球以外での学びが野球に活かせることも多くありますし、野球の学びが野球以外に活かせることもあります。

Q10.嶮山ひまわりってどんなチームですか？

A: 嶮山ひまわりにはチーム全体の行事があります。春はお花見、夏休み・冬休みの前には納会もあります。普段は各チームで活動しますが、チーム行事は 3 チーム合同で行うので、他学年と交流できる機会となります。夏はA・Bチームで合宿に行きます。みんなで畑を耕し収穫して、バーベキューを楽しみます。野球だけでなく野球を通していろんな学年の子ども達、保護者達と交流することができるので、子育ての不安や楽しみを共有することができる良い仲間と出会うことができると思います。チームで行事に取り組むことで、チームワークや子ども同士、保護者同士の信頼関係を築き、チーム全体で野球にとりくむ姿勢を学んでいく、アットホームであたたかなチームです。